

各地域における青少年育成事業・青少年の活動の様子

新庄市



自然と共生 暮らしに活力
心豊かに 笑顔輝くまち新庄

新庄市青少年育成市民会議の活動

新庄市青少年育成市民会議は、青少年関連事業への助成や環境浄化活動の推進、啓発イベントの実施、高校生ボランティアへの支援、あいさつ運動など、年間を通して活動を行っています。また、友好都市である茨城県高萩市との児童交流事業も実施しています。市青少年育成推進員を中心とした指導者が高校生ボランティアと共に引率し、7月に新庄市の小学5・6年生が1泊2日の日程で高萩を訪問しました。高萩市との歴史的なつながりを学んだり、高萩祭りの踊りパレードに参加したり、海遊びなどをしました。8月には高萩市の小学6年生が新庄を訪れ、市内散策や施設見学、そば打ち体験などを行いました。今年は新庄まつりの山車行列にも参加し、各町内の子どもたちと交流しました。

また、新庄市教育の日「記念行事」を市教育委員会と共催で行い、「だがしや楽校（がっこう）」では、かむてん人形の絵付けや木工クラフト、工作などのブースを、大勢の子どもたちに体験してもらいました。

今後も青少年の健全な育成につながるよう、関係機関と連携し事業を展開していきます。



最上町



歴史と温泉と緑の町

つくし会自主事業について

最上町高校生ボランティアサークルつくし会では、今年度自主事業としてハロウィンパーティーを10月20日に開催しました。

これは、会員たちが「つくし会」の知名度向上と子供たちに遊び場を提供したいという強い思いから実現しました。どのような事業を行うのか、何回も打ち合わせを重ね、時には意見をぶつけ合いながら準備しました。前日には、ハロウィンという事もあり、子供たちに配る手作りお菓子を朝から夕方まで一生懸命作っていました。当日は割り箸鉄砲射的やブラバンづくりなど6つのブースで高校生が指導役となって、参加してくれた子供たちと遊んでいました。子供たちは「お姉ちゃんたちの衣裳がすごくかわいくて真似をしたくなった。」



「手作りお菓子が、とてもおいしかった。」などと話してくれました。

会長の高橋君は「子供たちと交流することが出来て本当に良かった。多くの人から「つくし会」を知っていただくいい機会になったのではないかな。」と話していました。来年度以降もこうした若い高校生たちの自主性を最大限に尊重した事業を行っていきたいと考えています。

金山町



四季 奏でる町 金山

「美しい自然 清い心の町 金山」

平成25年度「金山町青少年健全育成町民大会」が、7月18日（木）に金山町農村環境改善センターにおいて開催されました。

金山スポーツ少年団野球部監督の高橋章氏から、野球というスポーツを通して、子どもたちが心身共に成長するためには、熱意ある指導と、周囲の大人たちの協力が大切であり必要であるという内容の発表がありました。

また、講演では山形大学基盤教育院／高等教育研究企画センター准教授 杉原真晃氏をお招きし、「地域で育てたい子どもの心と体～青少年と大人の関わり方」と題し、先生の今までの体験や統計データを基に講話を頂き、大人の青少年への接し方、関わり方を地域みんなで考える時間になりました。

他に、夏休み期間に夜間パトロールを実施し、青少年に対し、



大人がしっかり見守っているという姿を示すことができたのではないかと考えています。実際に問題行動は見受けられず、全体的に落ち着きが感じられました。今後も年末・春休みにパトロールを行う予定です。

舟形町



若あゆと古代ロマンの里 ふながた

高校生ボランティア「ふなっ子」の活動

高校生ボランティア「ふなっ子」は、今年度会員21名で様々なボランティア活動をがんばっています。

3月29日～30日の1泊2日で「被災地の視察研修」や「青少年育成推進員との懇談会」などのふなっ子研修会を行いました。1日目は名取市閩上の視察や、被災者の話などを聞いたり、東北福祉大学に行き、学生との懇談などを行いました。実際に被災地へ行き、自分の目で被災地を見ることが出来て、そして話を聞いたことがとても貴重な経験になりました。2日目は、毎年行っている「青少年育成推進員との懇談会」を行いました。普段聞けない町の疑問など、いろいろな話を聞くことが出来て、町についてより深く考えるきっかけとなりました。



今年度も様々なボランティア活動を行っておりますが、このような活動を通し、地域の方々と交流し、貴重な経験を積み重ねながら、町を元気にしていき、成長していければと思います。